

# 24年度 パドラーズトピックスー12

## 「行って見て被災地お邪魔隊 ・ 10月8日」



高校生の為の「行って見て被災地お邪魔隊」の2回目が、秋田県立西高校、男鹿海洋高校、明桜高校、秋田県立仁賀保高校などから40名の高校生が集まり、ESD代表の小山澄子さんの下、陸前高田班と気仙沼班と分かれ行われました。

被災地の状況を見て回ってから、仮設住宅にお邪魔して、当時の被害の模様など聞きながら、皆さんとお話をして「お茶飲み会」を実施してきました。



そのほかに、仙北市角館町の飾山囃子の手踊りを、角館小学校6年生の佐々木美有さん、熊谷菜々子の二人で気仙沼市の駒場仮設住宅の隣の「さかなの駅」の市場の中の特設舞台上で披露してきました。

この市場は津波の被害を受けない地域にあり、元々は酒造メーカーの倉庫で店を失った方々が集まり、借金してつくった市場でした。市場の

多田支配人は、家賃を毎月払わなければいけないので店主さん方は必至ということでした。自立しているということで、行政の支援は一切なく、自分たち一人ひとりが責任をもって後には引けないという思いで、とにかく5年は頑張ろうと言いながら毎日一生懸命ですとお話をしてくれました。



市場としてはこのようにわざわざ遠くから来て踊りを披露してくれることは大変ありがたいと、1週間前から送ったポスターを飾って宣伝してくれていました。提灯や祝い幕も手作りで、畳も借りてきてそれなりの舞台を作り、少しでも気持ちよく踊れるようにと、気を使ってくれました。また多くの買い物客や、仮設住宅の方々も見に来てくれて、初めて見る手踊りに大きな拍手を送り、反対にお礼としてお金を包んで子供たちへ手渡しするなど心配りがあり、少しでも私たちの踊りで元気になってもらえるなら行った行為に反対にこちらが皆さんの心の温かさに触れて、とてもうれしく私は心が詰まる思いでした。

午後には2回目の踊りを、南郷地区のボランティアのための宿を経営している、熊谷さん宅で地域の方々に踊りを披露しました。自宅が津波で鴨居のところまで水没し、何とか掃除し

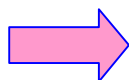


皆さんのためになろうと自宅を開放して、写真に写っていますわかめ児童文庫を開設し、全国から寄せられた本を地域の子供たちに貸し出したり、家に来て読んでもらおうと開設しましたが、今の子供たちは本を読まなく、せっかくの善意の本をうまく活

用したいと考えているところです。いいアイデアなどありませんか。



昨年の震災の状態から一年半過ぎた南郷地区です。久しぶりに大川や南郷地区など市内を見て廻りました。大川では昨年10月復興祈願祭の慰霊カヌーや、今年の6月に灯籠流しなどが行われるぐらい片付いてきています。下の南郷一区のメインストリートもキレイに片付けられ被災当時の面影はほとんどありませんが、なんとなく活気が無いように思われました。



**The 1st Kesennuma Street Live Festival**  
第1回 気仙沼ストリートライブフェスティバル

2012 10/8 (月・祝) 雨天決行  
AM10:00~PM4:00  
10/7(日) PM5:00~PM8:00 朝日生命ホールにて  
気仙沼新中央商店会主催のライブイベント開催  
(主催: JPO・スズキにもとセンター)

■会場 気仙沼市田中前大通り  
朝日生命ホール(メイン会場)、北日本銀行前、宮城日産前、気仙沼青果物流通市場、スーパーセンター前  
■メイン会場 気仙沼ストリートライブフェスティバル実行委員会  
■協賛 気仙沼新中央商店会

**The 1st Main Theme ~明日へのHeart Beat~**  
私たちには、どんな困難でも乗り越えたいという想いを抱くのが可能性を  
あきらめず、そして 未来は、人々との心をついて、共に歩むこと  
で、未来を創ることにあります。  
明日(10月8日)は、ミュージシャン、DJ、サウンドアーティストが活躍する、  
ライブイベント、ライブパフォーマンス、ライブパフォーマンス、  
花を咲かせる人もいます。音楽は、心をついて、共に歩むこと  
で、未来を創ることにあります。10月8日(月・祝)は、  
「第1回 気仙沼ストリートライブフェスティバル」が開催されます。

気仙沼ストリートライブフェスティバルは  
朝日生命ホール(メイン会場)、北日本銀行前、宮城日産前、  
気仙沼青果物流通市場、スーパーセンター前  
■協賛 気仙沼ストリートライブフェスティバル実行委員会  
■協賛 気仙沼新中央商店会  
電話 0286-24-9711(090-8310-6829)  
http://k-streetlive.com

「気仙沼ストリートライブフェスティバル」は協賛からのカンパ(協賛)にて運営しています。

同じ日に国道45号線をはさんで南郷地区と反対の田中前どおり地区5箇所  
で第一回「気仙沼ストリートライブフェスティバル」が行われていて、多くの  
市民が音楽に浸っていました。



「お・だづなよ = ふ・ざけんなよ」  
Tシャツに心意気を感じます。

音楽は心を癒し、時には勇気を与え、また集まった人々が一つになり、  
気仙沼の復興を一日ともいえないという一体感が生まれ、願っている  
ように思われました。秋田からも60回以上被災地におもむいてコン  
サートを開いている川崎ツトムさんも参加していました。



メイン会場では多くの方が集まり、  
高校生のジャズオーケストラの演奏に  
ノリノリで、音楽に体をあわせながら  
本当に心から楽しんでいました。



好きなジャンルやごひいきのバンドの前には人だかりが出来ていて、それぞれめいめい楽しんでいました。  
南郷地域とは違ってほとんど津波の被害は無いところで、活気があり復興目指す市民のエネルギーを感じ  
ました。早く南郷地区も活気のある地域になればなあと思って見て来ました。